

5-5					
主題	マニュアルを守らないで起こる事故ゼロを目指して				
副題	マニュアル遵守から『気づき=ヒヤリハット』が出せるチーム作り				
キーワード 1	マニュアル	キーワード 2	ヒヤリハット	研究(実践)期間	24ヶ月

法人名・事業所名	社福) 白十字会 特別養護老人ホーム白十字ホーム
発表者(職種)	神庭幸子(介護主任)
共同研究(実践)者	森田佳子(相談課長)、石割潤子(看護師)、菊池正尚(介護主任)

電 話	042-392-1375	FAX	042-392-1255
-----	--------------	-----	--------------

事業所紹介	白十字ホームは 1967 年に東京都で 10 番目の特別養護老人ホームとして開設されました。「トトロの森」のモデルになった八国山の麓に建つ定員 170 人の従来型の施設です。併設の白十字病院、老人保健施設等と連携し、利用者の方が「安心生き生き、こころ豊か」に生活ができるような支援も目指します。
-------	---

### 《1. 研究(実践)前の状況と課題》

白十字ホームでは、事故防止に取り組む「安全管理事故防止委員会」が組織されている。毎月委員会を開催し、フロア別の事故件数・ヒヤリ件数の集約・内容の分析を行い事故防止に取り組んでいる。委員会で分析を行っている中、同じような事故・ヒヤリが繰り返し起きていることが分かった。マニュアルをきちんと守らないことが原因で起こる事故・ヒヤリを少しでもなくすために取り組みを始めた。

### 《2. 研究(実践)の目的ならび仮説》

2020 年度末に来年度の事故件数をどうしたら減らせるのかを議論を行った。その中で、「減らせる事故とは何か」これは、マニュアルを守らないで起きてしまった事故ではないかという仮説をたてた。この事をしっかりと追求していく事を委員会の方針として掲げ、体制の変更等を行い、毎月防げた事故の分析を行い対策を立てた。

### 《3. 具体的な取り組みの内容》

- ①事故・ヒヤリの追求がしやすく対策が立てやすい体制作り。各フロア主任を構成メンバーとした。
- ②マニュアルの整備 事業方針に「マニュアルを守らない事故ゼロを目指す」を明記し、取り組みの実施。
- ③マニュアルを守らずに起こった過去の事故を検証し、なぜその事故をなくさなければならぬのか背景や理由もあげた研修動画を撮り職員研修を行った。
  - ・ベッドコントローラー保管位置のミス・センサーマット敷き忘れ、センサーのスイッチいれ忘れ・また義歯の入れ忘れ等々(職員限定で YouTube にて公開を行う。)
  - ・幼稚園バス園児死亡事故に関しての全職員で取り組み感想文をあげてもらい文集の作成を

行った。この文集をもとに久しぶりの対面でグループディスカッションでの研修を実施。参加できない職員に対してYouTubeにあげてもらおう取り組みも実施

※この中で、①マニュアルの重要性②ヒヤリをきちんとあげること③報・連・相をきちんと行うこと④これらが行えるには職員同士のコミュニケーションが重要だという意見が多く出された。

#### 《4. 取り組みの結果》

- ・主任が委員になったことにより、対策の提案がしやすくなった。対策が早めに立てられた。
- ・骨折事故が半数以下になった。(2020年21件が2021年8件。2022年10件) 全体の事故件数が減った。
- ・ヒヤリハットが2020年度は319件だったが、2022年度には140件と半数以下になりハインリッヒの法則の逆三角形の構図となったしまった。
- ・事故の分析の際に、この事故は防げた事故なのかを検討。  
(分析を行うと、忘れがちな事が複数あがってきた。また同じ利用者や同じ職員だったり傾向が見えてきた。) ての対象職員に対して具体的な確認を行った。
- ・対面での研修会でディスカッションを実施。マニュアルの重要性”“チームワークの大切さ”に気づいたという意見が多く上がっていた。今後繋がる研修。防げない事故もあるが、私たちの取り組みで『防げる事故もある』という事を再認識できた。
- ・これからもマニュアルの作成及び改定、周知を行っていく

#### 《5. 考察、まとめ》

- ・事故件数が減っており、骨折件数が半分以下になっていることは評価できる。しかしこの中にも、防げたのではないかと事故もあった。引き続き、『マニュアルで決まっている事をきちんと行い、事故を未然に防ぐということに取り組んでいく。』  
今後の委員会としての主な取り組みとしては、普段の気づきや情報の共有が大切だということを職員全体で意識したので、事故防止のために、この時期を逃さず、次の取り組みを行っていく。

- ・毎月のマニュアルを守らないことによる事故の分析の継続
- ・ヒヤリハット報告書の改定 ・ヒヤリハット報告書啓発強化月間等の取り組み
- ・ハインリッヒの法則を学び、ヒヤリハットを上げる意味の学習

#### 《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人(ご家族)に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

#### 《7. 参考文献》

「安全な介護」著者 山田滋・下山名月

「これならわかる 介護事故・トラブル」著者 介護リスクマネジメント研究

#### 《8. 提案と発信》

- ・防げる事故の取り組みを進めていく。職員の小さな気づきを“ヒヤリハット”にあげ職員間の情報共有を進めていきたい。ヒヤリハットの報告が増え「防げる事故」をなくす取り組みに繋げていきたい。マニュアルを踏まえた事故の対応を共有し継承できるチーム(意図をもって行動できる組織)作りを目指していく。